

【運転・定検状況（区分Ⅲ）】

平成 18 年 1 月 16 日

定期検査中の 6 号機における制御棒案内管からの溶接棒の回収について

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 6 号機は、平成 17 年 12 月 10 日から第 7 回定期検査中ですが、制御棒案内管*内部の点検を行っていたところ、1 月 11 日に 1 つの案内管底部に異物らしき物を発見したため、回収作業を実施しておりましたが、1 月 13 日、回収した異物らしき物はステンレス製の溶接棒（長さ：約 485mm、直径：約 2 mm）であることを確認いたしました。

運転開始以来、原子炉内に混入する可能性のある作業では、今回回収した溶接棒と同径のものは使用した実績がないことから、建設工事の際に混入したものと推定しております。

なお、制御棒案内管の内部は水の流れがほとんどなく、運転中も溶接棒は案内管底部に留まることから、原子炉の安全性に影響を与えるものではありません。

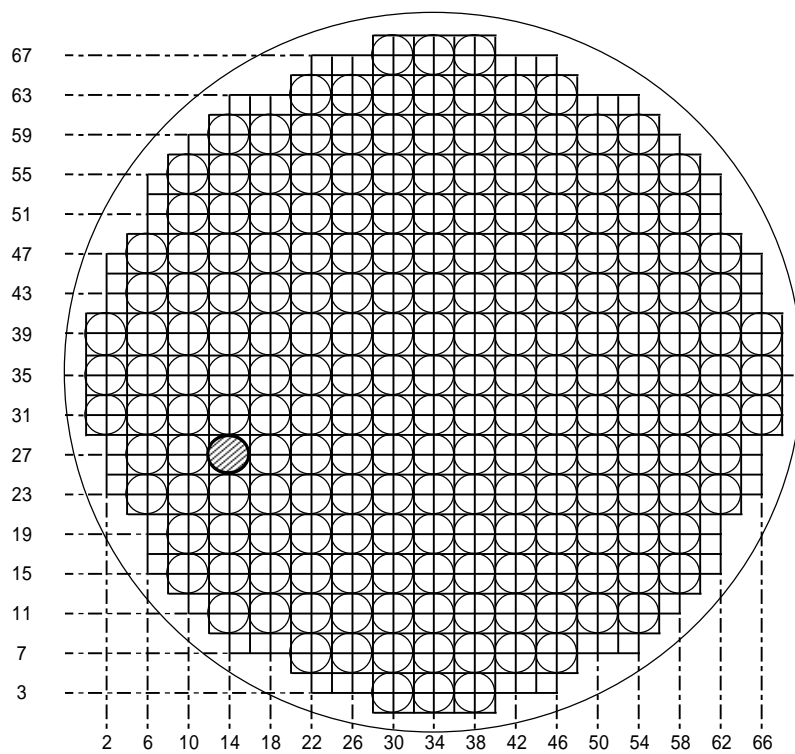
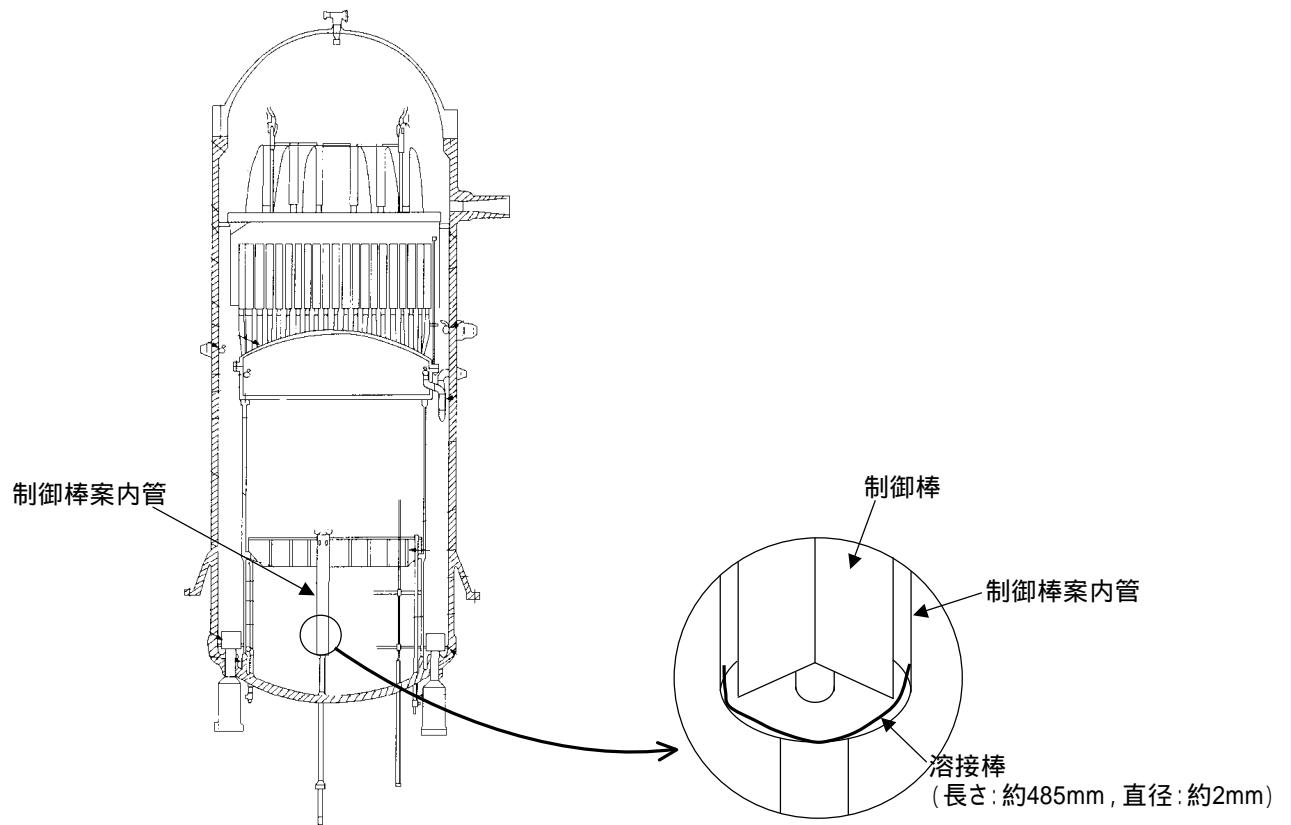
以 上

*：制御棒案内管

制御棒を引き抜いた際に制御棒を収納する管。

本件は「不適合事象の公表基準」に従い、区分Ⅲの事象として、発生した不適合事象を翌営業日に取りまとめて公表しているものです。

（不適合事象の公表基準：<http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/kijyun.pdf>）



☉ : 溶接棒が回収された案内管

柏崎刈羽原子力発電所6号機 制御棒案内管概略図及び溶接棒回収位置